



競技注意事項

1 競技規則について

本競技会は、2023年 日本陸上競技連盟競技規則 及び、本競技会申し合わせ事項 に基づいておこなう。

2 招集について

- (1) 招集所は、スタンド下・雨天練習場に設ける。
- (2) 招集開始時刻・完了時刻は、プログラムの競技日程欄に記載されている。
- (3) 携帯電話・スマートフォン・タブレット等の電子通信機器は、招集所内に持ち込まないこと。
- (4) 招集の手順
 - ① 競技者は、招集開始時刻までに招集所で、競技者係に、アスリートビブス及びシューズの点検を受けること。トラック種目出場者で、腰ナンバー標識が配布された場合は、右腰のやや後方につけること。
 - ② 招集所は、当該種目の競技者以外の立ち入りを禁止する。
 - ③ 代理人による招集の点呼は認めない。ただし、2種目以上にわたって同時刻に出場する競技者は、最初の種目の招集開始時刻までに、所定の「多種目同時出場届」を招集所へ提出すること。(用紙は招集所に準備) その場合に限り、招集時刻の点呼に代理人を認める。
- (5) やむなく欠場する場合は、招集開始時刻までに「欠場届」を招集所へ提出すること。(用紙は招集所に準備)
※招集時刻に遅れた競技者は、当該競技種目を棄権したものとみなして、処理する
- (6) リレー種目について
 - ① 「オーダー用紙」は、招集完了時刻の 1 時間前 までに招集所へ提出すること。(用紙は招集所に準備)
 - ② 出場メンバー全員が点呼を受けること。ただし、他種目に出場している場合は、上記(4)③に準ずる。
※ユニフォームは同型・同色を原則とする

3 用器具について

- (1) やり投競技のやり及び棒高跳競技のポール以外は、競技場備え付けのものを使用すること。
- (2) 持ち込みのやりは、競技開始時刻の 1 時間前 までに南用器具倉庫に持参して検査を受けること。

4 競技について

- (1) 朝の競技場内での練習は、9時10分 までとする。以降の練習については、多目的広場等を利用すること。
- (2) アスリートビブスは胸・背部につけること。(跳躍競技は胸部または背部の片方のみでよい)
- (3) スパイクシューズのピンの長さは 9mm 以下とする。走高跳及びやり投は長さ 12mm 以下とする。
- (4) トラック競技で使用できる靴底の厚さは、800m未満の種目は 20mm、800m以上の種目は 25mm とする。
- (5) トラック競技のレーン及びフィールド競技の試技順はプログラム記載のとおりとする。
- (6) 風の状況によりバックストレートを使用する場合は、スタート及びフィニッシュの位置が変更になる。
- (7) フィールド競技はトップ8方式をおこなう。
- (8) 男子走幅跳Aにおいては、
Aピット(試技順 No.1～30・スタンド側)と、Bピット(試技順 No.31～59・トラック側)の2ピットで行う。
男子走幅跳Bにおいては、
Aピット(試技順 No.1～19・スタンド側)と、Bピット(試技順 No.20～37・トラック側)の2ピットで行う。
男子三段跳においては、
Aピット(試技順 No.1～12・スタンド側)と、Bピット(試技順 No.13～24・トラック側)の2ピットで行う。
- (9) 三段跳の踏切板は、男子 11m00・女子 9m00 に設置する。

5 一般的注意事項

- (1) 競技場の開門は、両日とも 8時30分 とする。
- (2) 競技者の入退場は競技場の各ゲートから行き、みだりに競技場内(本部席前)の横断や通過はしないこと。
- (3) 競技中に起こったケガについては、本部の医務室で応急処置のみ行う。
- (4) スタンド等使用した場所は、各校で責任を持って清掃し、ゴミ等は各校で持ち帰ること。駅・競技場周辺のゴミ箱等には絶対放置しないこと。
- (5) 貴重品、荷物等は各自・各校で管理し、盗難等に十分注意すること。
- (6) 個人情報の取り扱いに関して
 - ① 本大会に関して寄せられた個人情報は、本大会の目的以外に使用しない。
 - ② 参加申込書の提出により、上記①の取り扱いに承諾を得たものと見なし氏名・学校名・学年・記録を紹介し掲示板に掲載する。また、本大会が認めた報道機関にも公表する。入賞者は報道機関の取材を受けることがある。
 - ③ 本部が認めた報道機関が撮影した写真が、新聞・大会報告書・ホームページ等で公表されることがある。